

平成 28 年度 第 3 回 学校協議会 会議録

1. 日 時 平成 29 年 3 月 23 日 (火) 18 : 00 ~

2. 場 所 産業高等学校会議室

3. 出席者

(1) 学校協議会委員

産業高等学校元 PTA 会長	池内 美智子
岸和田市中学校校長会会長	小池 俊一
産業高等学校同窓会副会長	杉山 玄道
産業高等学校 PTA 会長	信 貴 政 則
産業高等学校元校長	久井 孝 則 (50 音順)

(2) 学校

校長	楠戸 啓之
全日制教頭 (司会)	西村 元博
定時制教頭	榎本 正広
事務長 (記録)	古谷 利雄
教務部長 (首席)	大西 敦子

4. 次第

(1) 校長挨拶

(2) 会長挨拶

(3) 協議

① 「学校教育自己診断」について報告

全日制 : 12 月に実施。学校教育診断票の昨年度からの変更点を説明。全般的には昨年度より評価が UP しているが、評価の低い部分については今後も改善をに努める。

定時制 : 今年度については、各項目において肯定的回答 6 割以上を目指す事とした。全般的には昨年度より評価が UP しているが、今後も努力を続ける。

質疑応答

(委 員) 商業科の 2 年生において、授業に関する質問に対しての回答が他の項目に比べ、低い評価となっているが、考えられる原因など心当たりはあるか。

(事務局) 商業科の場合、2 年生から専門科目の授業の難易度が上がることが原因の一つではないかと思われる。授業内容により、教員 2 人態勢で習熟度別指導を行うなどの対応を行っている。

(委 員) 授業の進度に合わない生徒に対する対応について協議すると共に、研修等を行い結果の改善を図ってほしい。

(事務局) 現在校内に寄贈による短焦点プロジェクターが 1 台あり授業に活用している。プロジェクターを使用した授業に対する生徒の反応は良い。来年度本校定時制卒業生の方から寄付を受けこれにより来年度 2 学期に全普通教室に短焦点プロジェクターを設置予定、十分に活用していきたい。

- (委員) 定時制では学校行事や、ホームルーム活動について消極的な印象があるが、学校での様子はどうか。
- (事務局) 中学校時まで不登校を経験した生徒も在籍しており、学校行事に気持ちを向けることが出来ない者が少なくない。そのことが消極的な印象に繋がっている一因であると思われる。但し、学校行事に関し積極的な生徒も多く在籍しており、全体の雰囲気を引っ張ってもらえれば改善できると考える。
- (委員) 定時制において「学力が身につけてきている」との回答が上昇している事については喜ばしいことである。
不登校経験者の校内での様子は如何ですか。
- (事務局) 夜間の学校での学習が、生活スタイルに合ったという生徒も多い。今後、不登校経験者の改善率も確認し改善を図ると共にケアしていきたい。
- (委員) 児童・生徒数が減少傾向にあるなか、全日制に通う事ができない生徒が定時制を希望する。一人でも多くの生徒が卒業できる事が学校の存在価値、アピールに繋がる。
- (委員) 今年度の進路状況についてお聞かせ願いたい。
- (事務局) 就職については全体の約 27%、進学が約 72%。今年度は求人数が多く早期に就職を決めることができた。また、多くの者が事務職としての就職を果たした。進学については近年増加傾向にあり、約 20%の生徒が 4 年制大学に進学。その内、専門学科推薦などで国公立進学者は 4 名であった。
- (委員) これは、産業高等学校の特色を現す結果であり、この結果をしっかりと外部にアピールし、今後も努力を続けて欲しい。

② その他

- (委員) PTAとして、産業高校のPR活動の一環で、5月3日(水)市民フェスティバルにおいて、商品開発クラブの開発商品(おかき)を出店するためのブース確保に動いている。また、ブースを確保できればPTAとして生徒をバックアップし、産業高校のアピールに努めたいと考えている。
- (事務局) 先日3月18日に泉佐野ふるさと町屋館において「おにぎり」を販売した。今後の予定は、4月9日に開催される紀州街道にぎわい市に出店を予定している。また4月22日にはコープ岸和田店にて「泉だこ天井」を100食限定で販売計画。今後も積極的に活動を続け、商品開発クラブの取組み内容を外部の方に理解して頂けるよう努力していくのでご協力願いたい。